

女子ラグビー「神戸ファストジャイロ」 「五輪選手輩出したい」

港をイメージした新ユニホームを披露する神戸ファストジャイロのメンバーら。神戸市中央区、サロン・ド・エルミタージュ



一般社団法人化で設立式典

神戸の女子ラグビークラブチーム「神戸ファストジャイロ」が一般社団

法人化し、20日に設立式典を開いた。神戸製鋼元選手の浜島悠輔氏(34)をゼネラルマネジャー(GM)に迎え、さらなるチーム強化や地域に密着した普及活動を進める。

同チームは昨秋、クルーズ船「ファンタジー号」を運航する早駒運輸(神戸市)の出資を受けて発足し、兵庫県内の社会人や学生ら約20人が所属している。一般社団法人化に伴い、同社の渡辺真二社長(53)が代表理事に就任。今後、練習グラウンドの整備や、7人制女子ラグビー大会(来年3月)の開催などを手掛けていくという。

式典にはラグビー関係者や支援者ら約50人が出席し、港にちなんだセーラー服柄の新ユニホームがお披露目された。渡辺社長は「ラグビーのワールドカップが盛り上がったのも日本が強かったから。強いチームを目指し、ゆくゆくは五輪選手を出したい」とあいさつ。岡田恵梨香キャプテン(23)も「結果で恩返ししたい」と決意を述べた。

(山本哲志)